

第1号議案

平成29年度事業報告

当協会では、環境への負荷が少ない持続可能な「循環型社会」を形成するためには、産業廃棄物処理業界の「環境産業」としての自覚と健全な発展が不可欠であるという認識を基本に、産業廃棄物の適正処理と再資源化等に関する諸事業を進めている。

平成29年度においては、非営利型一般社団法人として、定款に定める次の5つの事業を実施するとともに、県と連携した環境産業へのステージアップ事業を推進した。

I 産業廃棄物の適正処理等に関する調査研究、普及啓発、指導相談等事業においては、廃棄物処理法の改正、処理技術等の動向の把握、労働安全衛生対策の推進、マニフェストの普及促進、会員・排出事業者等からの相談等への対応、通知・会報けやき・協会だより・ホームページによる適切な情報発信に努めた。また、業界のイメージアップを図るため、県と連携した「3S運動」を推進した。

II 適正処理に関する研修会、講習会及び人材育成事業においては、許可講習会を円滑に進めるとともに、法の改正、労働安全衛生などの重要課題に対応するための研修・講習の充実に努めた。人材育成については、優良事業者の育成を図るとともに、青年部会・女性部会の研修・交流事業により後継者の育成等を図った。また、新入社員の定着と意識向上を図るため、県と共催で「環境産業合同入社式」を開催した。

III 不適正処理対策に関する環境保全事業においては、さいたま環境整備事業推進積立金（けやき積立金）の保全を図った。なお、本年度は、この積立金を活用した生活環境保全上の支障を除去する撤去事案はなかった。

IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業としては、県との協定に基づく災害時支援体制の整備を進めるとともに、県が主催する災害廃棄物処理図上訓練に参加して、県、市町村、関係団体の連携強化を図った。

V 地方公共団体等からの受託事業としては、県外産業廃棄物事前協議制度に係る受付事務及び処理業事業者、排出事業者、新規採用者を対象とした実務担当者研修会業務を県から受託し、円滑に実施した。

平成30年3月31日現在の協会会員数は、正会員403社、賛助会員47社、計450社である。

I 産業廃棄物の適正処理、再生利用及び資源循環等を推進するための調査研究、普及啓発並びに、相談、指導助言等に関する事業

(1) 調査研究

・産業廃棄物の適正処理と減量化、再資源化などに関する情報収集を行うとともに、廃棄物処理法の改正内容の把握に努めた。また、災害廃棄物対策の検討を進めるほか、県の「太陽光パネルのリサイクル技術に関する検討会」に参加して、システム及び技術面の課題を検討した。

・調査研究事業の一環として、下記のとおり廃棄物処理施設の視察研修を行った。

県外廃棄物処理施設視察研修

実施日 平成29年10月5日(木)～6日(金)

視察先 ①渡辺産業株式会社(栃木県日光市)

産廃(燃えがら・鋳さい・汚泥・がれき類) 固形化・破碎
一廃(焼却灰・熔融スラグ) 固形化・破碎
再生砕石製造・販売

②株式会社シタラ興産(埼玉県深谷市)

中間処理(破碎・減容・圧縮・発酵)

AIロボによる自動選別導入

(2) マニフェスト制度の普及促進

・紙マニフェストの頒布事業については、不適正処理を未然防止する公益的事業として、(公社)全国産業廃棄物連合会と連携して行った。平成29年度における紙マニフェストの頒布実績は次のとおりである。

1) 産業廃棄物マニフェスト	312, 600セット
2) 建設系廃棄物マニフェスト	225, 700セット
合計	<u>538, 300セット</u>

・電子マニフェストについては、(公社)日本産業廃棄物処理振興センターと連携して、電子マニフェスト導入実務研修会を2回開催した。

平成29年8月31日(木) さいたま共済会館 受講 100名

平成30年2月 1日(木) さいたま共済会館 受講 25名

(3) 相談指導・普及啓発

・廃棄物の多様化と処理に係る制度的な複雑さを背景に、会員や排出事業者、県民から相談等は非常に多く、平成29年度における相談件数は約3000件に上った。会員等の処理業者からの相談に対しては、行政との連携のもとに適切な指導・助言に努めた。県民や排出事業者からの相談については、その求めに応じて会員の処理事業者を紹介するなど適正な処理の促進に努めた。

・啓発事業としては、産業廃棄物の適正処理、事故・災害防止に関する通知等

のほか、会報「けやき」や「協会だより」の新たな発行、協会ホームページの充実など適切な情報提供に努めた。

会報「けやき」No. 79（平成29年8月） 800部発行

会報「けやき」No. 80（平成30年2月） 800部発行

協会だより 2回発行 450部発行

協会ホームページアクセス数（年間） 約29,000件

・会員企業における女性活躍の推進に資するため、県産業労働部ウーマノミクス課のご支援により、小冊子「女性活躍推進のポイント」を600部刊行した。

（4）産業廃棄物適正処理の推進

・事業系産業廃棄物の適正処理の推進については、排出事業者責任と法改正に係る対応等を検討するとともに、県の指導のもと埼玉県環境保全連絡協議会と連携して産業廃棄物に係る最近の動向について情報交換を行った。

・建設系廃棄物については、建設廃棄物の適正処理に係る最近の動向について検討するとともに、県、賛助会員建設業者及び協会関係事業委員による懇談会を開催した。

・収集運搬業者については、タコグラフ等の運行計器の活用方法について検討するとともに、正会員の約6割を占めることから、会報「けやき」に収集運搬業の実務にかかわる記事をシリーズで掲載した。

・県と連携して「産業廃棄物処理業者3S運動」（スマイル・セイケツ・スタイル）を推進し、会員会社等における優れた取組に対しては、県知事表彰が贈られた（協会主催産業廃棄物講習会）。

・労働安全体制整備については、協会として初の労働安全衛生大会の開催やポスター、リーフレット等の配布を行った。また、会員企業への現況調査の実施や平成30年度協会労働災害防止計画の策定を行った。

・会員の資質向上を図るとともに、県行政担当者と会員との意見交換を通じて相互の理解を深めるため、地区懇談会を県産業廃棄物指導課と環境管理事務所の協力のもと、県内の3地域で開催した。また、連合会や関係諸団体、行政などとの交流事業等を行った。

・協会の各事業については、各担当事業委員会において企画、検討して事業を進めた。

主な事業活動は次のとおりである。

1) 事業系・建設系廃棄物適正処理の推進

① 環境保全懇談会

環境保全連絡協議会（排出事業者）と協会・行政との意見交換会

開催 平成29年11月14日（火） 埼玉教育会館

議題 産業廃棄物に係る最新の動向について等

出席 県、環境保全連絡協議会員、協会事業系廃棄物処理推進事業委員

② 建設系廃棄物処理関係懇談会

平成 30年2月13日(火) あけぼのビル
議題 建設廃棄物の適正処理の推進について
出席 県、建設系賛助会員、協会建設系廃棄物処理推進事業委員

2) 3S運動推進協議会(協会青年部会・女性部会から5名参画)

- ・第1回協議会 平成29年 5月18日(木)
- ・第2回協議会 9月25日(火)
- ・第3回協議会 10月25日(水)
- ・3S運動最優秀等知事表彰受賞
11月28日(火) 埼玉会館
最優秀賞 スマイル賞 前田道路(株)朝霞合材工場
セイケツ賞 東武商事(株) スタイル賞 (株)タカヤマ
奨励賞 スマイル賞 (株)ショーモン セイケツ賞 (株)エコシス埼玉
スタイル賞 東明興業(株)

3) 労働安全衛生の推進

- ① 会員に全国安全週間の通知、ポスター配布 平成29年 6月
- ② 労働安全衛生大会の開催
平成30年9月28日(木) さいたま共済会館 参加者130名
- ③ 会員企業における労働安全衛生現況調査の実施 11月
- ④ 会員に年末年始事故防止の通知 12月
- ⑤ 平成30年度協会労働災害防止計画策定 平成30年 2月

4) 地区懇談会(県と協会員との意見交換会)

- ① 東部・越谷地区 平成29年10月12日(木) 春日部市民文化会館
出席57名
- ② 中央地区 平成29年11月 1日(水) さいたま共済会館
出席54名
- ③ 西部・東松山地区 平成29年11月 9日(木) 川越南文化会館
出席70名
- ④ 北部・秩父地区 台風の影響で中止

5) 関係団体及び行政との交流事業等

- ① 協会平成30年新年賀詞交歓会
平成30年1月17日(水) 浦和ロイヤルパインズホテル
- ② 公益社団法人全国産業廃棄物連合会関係
 - ・第7回定時総会 平成29年 6月16日(金) 明治記念館
 - ・廃棄物と環境を考える全国大会 11月17日(金) 高知 三翠園
 - ・平成30年賀詞交歓会 平成30年 1月17日(金) 明治記念館
 - ・全国正会員会長・理事長会議 2月23日(金) ホテルグランドヴィア広島
 - ・全国正会員事務局責任者会議
平成29年7月28日(金)、平成30年2月2日(金) アジュール竹芝

③ 関東地域協議会関係

- ・第58回関東地域協議会 平成29年4月21日(金) 青山ダイヤモンドホール
- ・第59回関東地域協議会 11月24日(金) 東武宇都宮グランド
- ・関東地域協議会事務責任者会議
平成29年10月20日(金)、30年3月22日(木) 東京都協会

④ 関係団体会議

- ・埼玉県環境保全連絡協議会 平成29年5月11日(木) パレスホテル大宮
- ・埼玉県過積載防止建設団体連絡会 5月26日(金) 県民健康センター
- ・埼玉県フロン回収処理推進協議会 6月1日(木) 埼玉会館
- ・埼玉県不正軽油撲滅対策協議会 6月2日(金) 埼玉会館
- ・埼玉県防犯まちづくり推進協議会 6月8日(木) 県民健康センター
- ・暴力追放薬物乱用防止県民大会 平成30年1月25日(木) 埼玉会館

6) 事業委員会

① 調査研修事業委員会(亀井寿之委員長)

- ・開催 平成29年5月30日(火) さいたま共済会館
議事 協会主催講習会、県外施設研修、災害時支援体制について

② 普及指導事業委員会(亀井寿之委員長)

- ・開催 平成29年7月26日(水) 埼玉教育会館
議事 けやき第79号の編集、地区懇談会等について
- ・開催 平成30年1月29日(月) さいたま共済会館
議事 けやき第80号の編集等について

③ 収集運搬活性化事業委員会(鈴木勝彦委員長)

- ・開催 平成29年7月7日(金) さいたま共済会館
議事 タコグラフ・ドライブレコーダーの管理と活用について

④ 労働安全体制整備事業委員会(木下公次委員長)

- ・開催 平成29年4月25日(月) あげぼのビル
議事 労働安全衛生大会、ポスターの作成について
- ・開催 平成30年3月22日(木) あげぼのビル
議事 来年度の労働安全対策、労働災害防止計画について

⑤ 事業系廃棄物処理推進事業委員会(木下公次委員長)

- ・開催 平成29年11月6日(月) あげぼのビル
議事 排出事業者責任に基づく指導と廃掃法の改正について
- ・環境保全懇談会【前掲】

⑥ 建設系廃棄物処理推進事業委員会(野崎鉄也委員長)

- ・建設系廃棄物処理関係懇談会【前掲】

⑦ 表彰事業委員会(須田茂治委員長)

- ・開催 平成30年3月6日(火) さいたま共済会館
議事 平成30年度協会・連合会表彰について

II 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成

(1) 協会主催及び県との共催の講習会

- ・産業廃棄物処理業者は、法令に基づく廃棄物の適正処理、労働安全衛生の確保はもとより、持続可能な循環型社会の構築に向けて、廃棄物のリサイクル、熱回収等の推進、環境マネジメントシステムの導入、経営の高度化など、環境産業としての取組を積極的に展開することを求められている。
- ・業界を取り巻く諸課題への対応や将来展望にも資することを目的に、産業廃棄物の適正処理等に関する講習会を実施した。

1) 産業廃棄物適正処理講習会（県と共催）

開催 平成29年7月28日（金） 埼玉会館大ホール

演題 「廃棄物処理法における排出事業者責任について」

（公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 改田耕一氏）

「産業廃棄物を適正処理するために必要なコストとは？」

～排出事業者と処理業者が連携して適正処理をしていくために～

（高俊興業株式会社、野村興産株式会社）

受講者 590名

2) 産業廃棄物講習会（協会主催）

開催 平成29年11月28日（火） 埼玉会館大ホール

演題 「制定50年に向けた廃棄物法制の展望」

（上智大学法科大学院教授 北村喜宣氏）

「排出事業者責任に基づく措置の指導について」

（県産業廃棄物指導課）

受講者 560名

（後援；埼玉県、埼玉県環境保全連絡協議会、（一社）埼玉県建設業協会）

(2) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

日本産業廃棄物処理振興センターに協力して、「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業に関する新規許可講習会」、「同 更新許可講習会」及び「特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」を、さいたま共済会館において延べ16回開催した。受講者総数は2,121名である。

1) 新規（収集運搬課程）

平成29年 7月20日（木）～21日（金）、9月5日（火）～6日（水）

10月25日（水）～26日（木）

平成30年 2月 7日（水）～ 8日（木）

受講者数587名

2) 新規（収集運搬・処分課程）

平成29年 8月 1日（火）～ 4日（金） 受講者数92名

3) 新規（特別管理産業廃棄物収集運搬課程）

- 平成29年 5月24日(火)～26日(木) 受講者数73名
- 4) 更新(収集運搬課程)
平成29年 5月23日(火)、 9月 7日(木)
平成30年 1月26日(金)、 2月27日(火)
受講者数608名
- 5) 更新(収集運搬・処分課程)
平成30年 1月24日(水)～25日(木) 受講者数95名
- 6) 特別管理産業廃棄物管理責任者
平成29年 7月19日(水)、10月27日(金)
平成30年 2月 9日(金)、 2月28日(水)
3月23日(金) ※医療特責
受講者666名

(3) その他の研修事業

企業の経営者から現場管理責任者、実務担当者まで、幅広く法令、処理技術、労働安全衛生、経営などに関する研修の機会を提供するため、実務担当者研修会【後掲】を延べ9回実施したほか、連合会、日本産業廃棄物処理振興センター等で実施する各種研修会の案内を行った。

(4) 廃棄物処理業に係る人材育成

- ・法令と社会的な規範を遵守し、企業の社会的責任を果たしていく上で、業界の後継者や法令・技術面に習熟した業界の人材の育成が重要である。
- ・青年部会は、平成29年度においても勉強会、施設研修会、全国組織との交流事業などを実施し、協会総会、講習会などに主体的に協力した。
- ・女性部会では、勉強会、施設研修会、関東地域協議会女性部会の交流事業、協会事業への協力等を通して、女性の視点から処理業界の課題解決に寄与するという趣旨に基づき活動した。
- ・県と共催で「環境産業合同入社式」を開催し、新入社員の定着とモチベーション向上を図るほか、フォローアップ研修【後掲】を行った。
- ・従事者能力アップセミナーや産業廃棄物処理業経営塾の紹介などを行い、人材育成の推進支援に努めた。
- ・会員及び会員企業の優れた功績などを称える表彰制度として、功労者、優良事業所、優良従業員の顕彰を行うとともに、県や連合会の表彰規程に基づく表彰への推薦を行った。また、協会主催講習会への継続参加受講者に対しては感謝状を贈呈した。

主な事業活動は次のとおりである。

- 1) 地区懇談会の開催【前掲】
- 2) 県外廃棄物処理施設の視察研修【前掲】
- 3) 青年部会活動

- ・合同入社式名刺交換会 平成29年6月6日(火) 商工会議所
- ・総会 6月13日(火) さいたま共済会館
- ・勉強会 6月13日(火)
 - 事業承継等について(講師 税理士 市川康明氏)
 - 11月24日(金)
 - 産業支援等について(講師 産業支援課 尾崎主幹)
- ・施設研修会 10月20日(金)
 - ツネイカムテックス(株)福山工場 (株)カワエコノス本山工場ほか
- ・交流事業等 6月23日(金) 関東ブロック通常総会及び交流会
 - 宇都宮東武ホテルグランデ
 - 平成30年2月9日 関東ブロック賀詞交歓会 東京都庁第一本庁舎

4) 女性部会活動

- ・総会 平成29年5月16日(火) あけぼのビル
- ・合同入社式名刺交換会 6月6日(火) 商工会議所
- ・勉強会 6月13日(火) 青年部勉強会に参加
 - 7月18日(火) 法改正について(講師:産業廃棄物指導課)
- ・施設研修会 9月15日(金) (株)シタラ興産カンライズ FUKAYA 工場
 - AIロボによる自動選別導入
- ・交流会事業等 9月21日(木) 関東地域協議会女性部会設立総会・講演会
 - 東京国際フォーラム
 - 平成30年2月9日(金) 関東地域協議会女性部交流会
 - 川越プリンスホテル
 - 賀詞交歓会、講演(講師:池谷幸雄氏)

5) 環境産業合同入社式・名刺交換会(県・協会共催)

平成29年 6月 6日(火) さいたま商工会議所
 講演 「地球の健康管理のお医者さん～廃棄物処理業の今後～」
 講師 公益財団法人廃棄物・3R研究財団 田中勝理事長
 出席者 23社88名

6) 表彰事業(敬称略)

- ① 埼玉県産業廃棄物関係環境衛生功労者等表彰受賞者
 - ア 環境衛生功労者知事表彰
 - 高澤謙之(株式会社千佳) 山口敬善(株式会社山口組)
 - イ 環境衛生功労者環境部長表彰 友野浄二(株式会社トモノ)
 - ウ 優良従事者環境部長表彰 関口 豊(泉スクラップ株式会社)
- ② 公益社団法人全国産業廃棄物連合会表彰受賞者
 - ア 功労者表彰
 - 亀井寿之(亀井産業株式会社)
 - イ 地方功労者表彰
 - 飯塚崇夫(亀井産業株式会社) 井花力蔵(株式会社大進興業)

- ウ 地方優良事業所表彰
有限会社埼玉北再生アスコン 秩父回収資源株式会社
株式会社マルミヤ
- エ 優良従事者表彰
亀井和子(亀井産業株式会社) 助川優子(JW ケミテック株式会社)
保科清二(株式会社三栄興業)
- ③ 一般社団法人埼玉県環境産業振興協会表彰
 - ア 功労者表彰
新井吉樹(サン商事株式会社) 伊藤 滋(株式会社千足)
稲垣宏俊(株式会社ジェイアールエス) 千田英浩(株式会社タイセイリサイクル)
原 圭(株式会社環境サービス) 梁川 哲(新和環境株式会社)
 - イ 優良事業所表彰
株式会社 ISHIDA 株式会社猪俣産業 株式会社遠藤商会
株式会社遠藤商会 株式会社小林茂商店 株式会社権田商会
メタルリサイクル株式会社
 - ウ 優良従業員表彰
井上和彦(首都圏産業株式会社) 神谷 清(松田産業株式会社)
菅野 茂(東武商事株式会社) 北山謙一(株式会社やまたけ)
西尾一伸(東武環境センター株式会社) 西川 昇(クリーンシステム株式会社)
野澤幸太(保健事業株式会社) 平馬孝裕(石坂産業株式会社)
前田良之介(株式会社クマクラ) 柘田 明(有限会社丸新)
横田龍之介(株式会社トモノ) 吉沢 学(亀井産業株式会社)

Ⅲ 産業廃棄物の不適正処理対策に関する環境保全事業

(1) けやき積立金の運営・管理

・さいたま環境整備事業推進積立金(けやき積立金)は、廃棄物の山の撤去や改善等による生活環境の原状回復・保全事業の推進に必要な事業費に活用することを目的に設置され、協会役員、県、政令市、関係各界の代表者から構成される「さいたま環境整備事業推進積立金運営委員会」において適正な運用を図ることとしている。

・平成29年度のけやき積立金会計の収支は、次のとおりである。

けやき積立金会計(平成29年度末)

① 収入

ア	埼玉県補填金	0円
イ	市町村補填金	0円
ウ	市町村分担金	800,000円
エ	協会からの繰入金	2,500,000円
オ	雑収入	1,399円
	収入合計	3,301,399円

② 支出	0円
③ 平成29年度収支差額	3,301,399円
④ けやき積立金平成29年度末積立金額	510,425,091円

(2) 不法投棄等不適正処理廃棄物対策

・けやき積立金による事業は、産業廃棄物の不適正処理により生活環境等の保全に支障が生じる恐れがある場合などについて、「共同撤去事業」、「放置事案改善事業」及び「小規模投棄廃棄物撤去事業」に区分して実施している。

これらは、県や関係市町村が必要性を認め、けやき積立金規程に基づき協会に協力を要請されたものについて、同運営委員会の承認及び埼玉県環境部長との協議を経たものについて、撤去等の事業を実施することとしている。

・平成29年度においては、けやき積立金を活用した撤去事業はなかった。

IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

・「地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定書」（平成16年11月締結）に基づく支援に資するため、災害時における初動緊急支援体制について、引き続き検討を進めた。

・災害廃棄物処理図上訓練（県資源循環推進課）に参加（調査研修事業委員会）

平成29年10月23日（月） 全体研修 県民健康センター

11月 8日（水） 東部エリア図上訓練 蓮田白岡環境センター

11月22日（水） 南部エリア図上訓練 川越地方庁舎

12月 1日（金） 北部エリア図上訓練 熊谷地方庁舎

V 地方公共団体等からの受託事業

埼玉県からの受託業務として、「県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度に基づく申請書類の審査・受理」及び「産業廃棄物適正処理に関連した実務担当者向けの法制度等の研修会」を実施した。

(1) 県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度の申請書類受付事務

県外で発生した指定産業廃棄物（建設系廃棄物である廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、石膏ボード）の排出状況、処分状況等を把握し、指定産業廃棄物の分別排出等を促進し、適正処理の推進を図るため導入した、事前協議制度に係る「事前協議書」等の受付業務を行った。

1) 受託期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

2) 事前協議等受理件数

① 事前協議等受理件数 2,019件

一括協議書受理件数 30件

② 変更届受付件数 49件

③ 特例適用届出書受付件数 118件

合計件数 2,216件

④ 実績報告書受付件数 413件

(2) 実務担当者研修会の実施

産業廃棄物の排出事業者及び処理業者の実務担当者を対象に、適正処理等を推進することを目的とした研修会を、中央、西部、東部の3地区において実施した。総受講者数は359名であった。

1) 法律コース（排出事業者・処理業者）

講師 保科 弘 氏（日本産業廃棄物処理振興センター専任講師）

平成29年12月25日（月） さいたま共済会館 18名

平成30年 1月11日（木） さいたま共済会館 37名

2月 5日（月） 川越南文化会館 51名

2月21日（水） 春日部市民文化会館 49名

2) 安全衛生コース（排出事業者・処理業者）

講師 熊江 隆 氏（日本産業廃棄物処理振興センター専任講師）

平成30年 1月 9日（火） さいたま共済会館 30名

1月30日（火） 春日部市民文化会館 43名

3) 産業廃棄物処理コース（処理業者）

講師 藤井重雄 氏

（日本環境衛生センター・日本産業廃棄物処理振興センター講師）

平成30年 2月16日（金） さいたま共済会館 63名

2月22日（木） 川越南文化会館 41名

4) 新規採用者フォローアップコース（環境産業合同研修会）

講師 株式会社インソース

平成30年 1月29日（月） 埼玉会館 27名

その他の重要事項

「平成30年度埼玉県への施策及び予算編成に対する要望書」を、自由民主党埼玉県支部連合会に提出した（平成29年7月20日）。

- ・ 要望事項 「産業廃棄物処理業界の支援・育成について」

県で実施している産業廃棄物処理業の「環境産業へのステージアップ事業」の一層の充実

- ・ 回 答 「産業廃棄物処理業を環境産業にステージアップさせるため、引き続き様々な取組に努める」（平成30年2月21日）